

事業実施報告

開催日	令和6年5月11日(土)、12日(日)		
事業名	テンパーク・アウトドアクラブ～春編～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	11日 27家族87名 12日 30家族86名
対象	小学校3、4年生の子どもを含む家族		
関係機関名	岩手県キャンプ協会、ガールスカウト岩手県連盟、スポーツキャンプCOZY、滝沢里山研究会		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

〔事業の内容〕

本事業は、キャンプに挑戦したい親子に体験の機会を提供するとともに、キャンプに関する初歩的な技術・知識を身に付けてもらうことを目的として、午後開始の日帰り事業を同内容で2日間開催した。

事業内容は2部制となっており、第一部では5つのプログラムを参加者が自由に体験できる「キャンパー体験会」を行った。実施したプログラムは次の通り。①ビギナーズキャンパースクール：岩手県キャンプ協会を講師に招き、テント設営の技術について解説を交えながらの実演を見学した後、5種類のロープワークを体験した。②スラックライン体験：スラックライン体験に加えて、スポーツキャンプCOZYのインストラクターによるセーフティワークを含めたデモンストレーションも実施した。③創作活動：ガールスカウト岩手県連盟の協力のもと、自宅でも焼き火気分を味わえる「焼き火キャンドル」を創作し、実際に火をつけて暗所で鑑賞した。④キャンプギア体験会：テンパークで貸出し可能なキャンプギアの紹介を行った。テント、タープ等の設営体験や、滝沢里山研究会の協力のもと、薪割体験も実施した。⑤テンパーク探検隊！：活動プログラム「テンパーク・スタンプラリー」を実施した。

第二部の「アウトドアクッキング」では野外炊事メニュー「BBQ」と、スウェーデントーチを用いたのマシュマロスモアを体験した。滝沢里山研究会によるスウェーデントーチの歴史や使い方、森林に関する講話があった。

〔成果〕

①キャンプについての知識・技術を身に付け、継続的な体験への意欲を高めることができた。

参加者アンケートの「自然体験活動に生かせる知識や技術を学べましたか」という設問に対して全ての回答者から「学べた」「少し学べた」との回答を得ることができた。また、「今後自然体験活動をしたいと思いましたが」という項目に対して、全ての回答者から「したい」「時々したい」との回答を得ることができた。

②4つの協力団体と連携を図り事業を運営することができた。

専門的な知識を持つ講師を招き実施したことで、プログラムが充実したものとなった。また、事前の打ち合わせを重ね、事業の趣旨を理解してもらうことで、目標に向けて相互的な関係を築くことができた。

③新たな事業形態での実施

事業を2部制とし、前半では5つのプログラムを用意し、各家族で自由に体験してもらう時間を設けた。後半は簡略化した野外炊事を実施した。前半は活動選択の自由度の高さから、それぞれの楽しみ方を見出して子どもに興味関心に応じていきいきと活動している姿が見られた。野外炊事ではBBQのほか、滝沢里山研究会によるスウェーデントーチや森林についての講話もあり、楽しく学べる機会となった。

〔課題〕

①雨天時プログラムについて

今回は天候に恵まれたが、雨天だった場合、アウトドアの魅力が十分に伝わる内容とは言い難い。雨天時でもアウトドアの魅力が伝わるプログラムを次年度以降考えていく必要がある。

②野外炊事について

少人数で参加している家族にとって野外炊事の準備や片付け等が負担にならないよう、一班につき大人が複数いるように一部、2家族合同での班編成を行ったが、初対面での活動に不安を覚え別々での活動を希望する参加者もいた。食材は各家族の人数で分けて配布する、合同班について予め承諾を取るなどの対応が必要であった。

状況写真



ビギナーズキャンパースクール
ロープワークの様子



スラックライン体験



曲り家にて
焼き火キャンドルづくり



キャンプギア体験会
ソロテント設営の様子



テンパーク探検隊！



アウトドアクッキング
スウェーデントーチ